



2022年2月14日

各位

会社名 ブランディングテクノロジー株式会社
代表者名 代表取締役社長 木村 裕紀
(コード：7067 東証マザーズ)
問合せ先 経営管理本部長 松原 祐輔
(TEL. 03-6455-3117)

2022年3月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社グループは、2022年2月14日開催の取締役会において、最近の業績の動向を踏まえ、2021年5月14日に公表いたしました2022年3月期(2021年4月1日～2022年3月31日)の通期連結業績予想を下記の通り修正することといたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 2022年3月期 連結業績予想値の修正(2021年4月1日～2022年3月31日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	5,000	50	46	34	20.07
今回修正予想(B)	5,000	90	88	66	41.75
増減額(B-A)	0	40	42	32	—
増減率(%)	0.0	80.0	91.3	95.5	—
(ご参考) 前期実績 (2021年3月期)	4,420	△114	△116	△42	—

2. 修正の理由

2022年3月期の通期連結業績予想は、前回発表予想時には新型コロナウイルス感染症の感染拡大による経済活動の停滞や顧客企業の業績悪化、景気後退等による、当社グループへの影響を見込んで策定いたしました。

ワクチン接種が進んだことで経済活動に関する制限が緩和される一方で、新たな変異株による感染拡大が進行しており、依然として先行きは不透明な状況にあります。

当社グループの現状におきましては、営業活動に重大な影響は発生していないものの、今後も一定程度の事業リスクを認識し、新型コロナウイルス感染症の再拡大やアフターコロナにおける環境下においても企業価値の向上に努め、事業活動に取り組んでまいります。

売上高につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響が続くなか、企業の広告投資はテレビや紙媒

体からデジタル施策に流れる動きが加速していること等を背景に順調に推移しており、概ね予想とおりとなる見込みです。

利益面につきましては、セールスマックスの変動により売上総利益率が改善したこと、リモートワークやオンライン商談等を基本とした働き方へシフトしたこと等により人員配置の適正化、生産性の向上、コスト削減が実現した結果、前回発表予想を上回る見込みとなっております。

以 上